

平成25年度 施策達成度評価シート (24年度実績評価)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
7	快適な都市機能	75	いつでも信頼される上水道事業の推進

評価責任者名	上下水道部長 及川 一男
評価シート作成者名	上下水道部次長 武石 幸久

1 施策の目的(目指す姿)

対象 (誰を, 何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
上水道施設 利用者	安全な水が安定的に供給される

2 達成度

(1)成果指標

指標名	単位	指標の性格	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H24実績値	H25計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
上水道普及率	%	↗	97.7	97.8	97.8	97.8	97.8
水道管耐震化率	%	↗	21.7	24.0	22.6	25.0	26.0

(2)近隣自治体との成果水準比較

指標名	他自治体の状況等
上水道普及率	青森市 99.7% 秋田市 99.1% 仙台市 99.5% 山形市 98.0% 福島市 97.5% ※H23実績値 (インターネット等の閲覧による調査結果)
水道管耐震化率	青森市 10.4% 秋田市14.8% 仙台市 27.8% 山形市 20.9% 福島市 3.1% ※H23実績値 (インターネット等の閲覧による調査結果)

3 達成度評価結果

取組内容と成果	未給水区域はその大半が郊外に散在しており投資効果は低いが、住民要望を踏まえた未給水地域解消事業を進めたことにより、水道整備地域は着実に増加しており、上水道普及率は目標を達成した。 また、水道はライフラインとして、震災時においても安定した給水をしつづけることが求められ、本市においては平成5年から耐震管の使用を開始し、以来震度7の震災にも対応可能な管路の割合である水道管耐震化率は着実に増加しているが、目標には至らなかった。 一方、漏水対策や水質維持による安全でおいしい水の安定供給や水道料金の確保、経費の削減による経営の健全化の面で一定の成果をあげている。
成果を押し上げた要因	給水区域内の未給水地域解消を目的とした未給水地域解消事業により、計画的及び効率的に配水管整備を行っている。また、地下水の枯渇や水質悪化による井戸水利用世帯などの給水要望に対応し、緊急性及び投資効果等を考慮に入れながら順次配水管整備を行っている。
目標と成果とにギャップがある場合、その要因	
これからの課題	旧玉山村との合併に伴い、上水道普及率も水道管耐震化率も一時的に低下した。玉山区においては山間部に人口が点在している地域があることや既に整備済みの管路が耐震管でないことなどがあり、目標値には至らなかった。 管路の耐震化については国庫補助の導入を図り、計画的な老朽管の布設替え及び浄水場水系連絡管の整備により耐震化を進めることとしているが、財政状況も勘案しながら、整備を進めていく必要がある。

4 各主体に期待する役割

	役割の内容
市	水道は市民生活に欠くことのできないライフラインであり、将来にわたり安全な水質，強靱な施設，持続できる健全な事業運営を行うこと。
国・県・ 他自治体	水道行政に係る適切な指導・監督を行うと共に，水道施設整備に係る国庫補助金の確保及び適切な交付を行うこと。
市民・NPO	水道料金の負担及び水道法に基づき給水装置の維持管理を行うこと。
企業・その他	水道施設の各種設備の技術革新とコスト縮減，及び業務委託での技術力向上と人材育成を行うこと。

5 成果達成への基本事業の貢献度

コード	基本事業	比重
	名称	
751	安定給水の確保	50
752	給水サービスの向上	20
753	経営の効率化	30

平成25年度 施策達成度評価シート（24年度実績評価・基本事業の状況）

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
7	快適な都市機能	75	いつでも信頼される上水道事業の推進
基本事業			
コード	名称		
751	安定給水の確保		

評価シート作成者名	上下水道部次長 武石 幸久
-----------	---------------

1 基本事業の目的（目指す姿）

対象 (誰を, 何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
配水される水 配水管 水道水中の塩素	安全でおいしい水が安定供給される

2 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H24実績値	H25計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
有効率	%	↗	94.6	93.7	94.4	93.7	93.8
耐震化率	%	↗	21.7	24.0	22.6	25.0	26.0
残留塩素	mg/l	↘	0.39	1以下	0.40	1以下	1以下

3 役割分担分析

		役割の内容	役割分担 比率(%)
各主体の 役割の状況	市	安全でおいしい水を安定供給するために、計画的な水道施設の更新及び維持管理を行うこと。	70
	国・県・ 他自治体	原水水質を良好に保つため、水源地域の森林の保全について、環境行政及び林野行政に対して積極的に取り組むこと。	10
	市民・NPO	市水道の水源となっている河川の良好な水質確保のため、生活排水対策として浄化槽の設置を行うこと。	10
	企業・その他	水源流域に存在する産廃施設や採石場、工場などからの排水対策を行うこと。	10

平成25年度 施策達成度評価シート（24年度実績評価・基本事業の状況）

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
7	快適な都市機能	75	いつでも信頼される上水道事業の推進
基本事業			
コード	名称		
752	給水サービスの向上		

評価シート作成者名	上下水道部次長 武石 幸久
-----------	---------------

1 基本事業の目的（目指す姿）

対象 （誰を、何を対象としているのか）	意図 （この施策により対象をどのように変えるのか）
上水道施設 利用者	利用者の理解と信頼が確保される

2 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H24実績値	H25計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
公道内鉛製給水管解消率	%	↗	57.04	64.31	74.67	82.21	100.00

3 役割分担分析

		役割の内容	役割分担 比率(%)
各主体の 役割の状況	市	お客様のニーズに応じた迅速な情報の提供、各種の要望や相談事項等への迅速な対応、公平できめ細やかな給水サービスの提供及び安全でおいしい水の供給を目指し、成果の向上に努めること。	50
	国・県・ 他自治体	国県による適正な行政指導及び財政支援、災害時の相互応援活動の充実を図ること。	10
	市民・NPO	水道事業に対する理解と協力、給水装置及び給水器具の維持管理及び料金を負担すること。	30
	企業・その他	水道事業に対する理解と協力、貯水槽水道等の維持管理及び料金を負担すること。	10

平成25年度 施策達成度評価シート (24年度実績評価・基本事業の状況)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
7	快適な都市機能	75	いつでも信頼される上水道事業の推進
基本事業			
コード	名称		
753	経営の効率化		

評価シート作成者名	上下水道部次長 武石 幸久
-----------	---------------

1 基本事業の目的(目指す姿)

対象 (誰を、何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
水道事業会計	健全に経営される

2 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H24実績値	H25計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
総資本利益率	%	↗	0.80	0.56	1.08	0.53	0.50
自己資本構成比率	%	↗	66.20	67.13	67.29	66.07	65.00

3 役割分担分析

		役割の内容	役割分担 比率(%)
各主体の 役割の状況	市	安全でおいしい水の安定供給。適正かつ能率的な事業運営を行うこと。	50
	国・県・ 他自治体	水源開発，総合施策の策定。技術的，財政的支援を行うこと。	10
	市民・NPO	水道事業への理解と協力、料金を負担すること。 水道水源施設の清潔保持と水の適正かつ合理的な使用を行うこと。	20
	企業・その他	市の施策への協力と料金を負担すること。 水道水源施設の清潔保持と水の適正かつ合理的な使用を行うこと。	20